令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大久保小学校】

童生徒の

6	次年度への課題と学力向上策		
知識·技能	次年度に向けて		
思考·判断·表現	未評価		

<u>(1)</u>	今年度の課題と学力向上策		
	学習上・指導上の課題		学力向上策【実施時期·頻度】
知識·技能	<学習上の課題> 国語「富葉の特徴や使い方に関する事項」、算数「図 形」で変化と関係において課題が見られる。 <指導上の課題> 学習内容の習熟に個人差が見られる。個に応じた反 復練習の時間を設けることが難しい。	\Rightarrow	「言葉の特徴や使い方に関する事項」への取組を全学年で重点的に行い、当該学年で身に付けるべきことを明らかに示し、指導していく。【該当単元】 探美時間内に確実に適用問題を実施していく。その際、ドリルパーク等の活用を含め、個人の実態に応じた問題に取り組めるようにする。【毎時間】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語話すこと・間くこと」「読むこと」、算数「変化と関係」において課題が見られる。 〈指導上の課題〉 クラウドを活用した学習展開が十分になされていない。	↑	児童が仲間と協力して考えたり、ICTを活用していろいろな考え 方で学んだりする場面を積極的に取り入れた授業を展開する。【毎時間】 授業に主体的に臨めるように、根拠を明らかにして情報を読み取 る活動を重視し、授業を展開する。【毎時間】

<小6・中3>(4月~5月)

5	評価(※)	調査結果学力向上策の実施状況	
知識·技能	(2) (3)	信果分析(官埋職・字年王仕等) 詳細分析(学年・教科担当) 分析 <u>共有</u> (児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	J.
思考·判断·表現	$\overline{}$	結果提供(2月)	A A

A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

4	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識·技能	
思考·判断·表現	

全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察) 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率は高かった。既習の漢字を正しく使う力が身に付いている。ただし、本校の課題である主語と述語の関係に関する出題がなかったため、正答率が高かったとも考えられる。 算数「図形」において、基本的な図形の意味や性質について問う問題の正答率は高かった。しかし、多角形を基本図形に分割 し、必要な長さを測り、計算する問題のご答率は低かった。多角形を面積の求め方が分かる図形に分割し、公式を用いること に課題がある。「変化と関係」の知識・技能に対応した問題は出題されていない。 学力の向知識・技能 国語「話すこと・聞くこと」「読むこと」における正答率が低かった。自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること や、目的に応じて文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けることが本校の課題といえる。 算数「変化と関係」に対ける正答率が昨年度に引き続き低かった。複数の情報から必要な情報を取捨選択し、式に表すことに 課題がある。また、基準量、比較量、割合の関係を正しく捉え、言葉や図と式を関連付けて説明することにも課題が見られた。 思考·判断·表現

3	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期·頻度】
知識・技能	B 中間i	国語では、当該学年で身に付けるべきことを明らかに示 し、指導していく。 算数では、適用問題を確実に実施している。授業の中 で、ドリルパークまで活用できることは少ない。	変更なし
思考・判断・表現	目標・5	各教員が、受け持ちの教科において、児童が中間と協力 して考えたり、ICTを活用していろいろな考え方で学ん だりする場面を積極的に取り入れた授業を研究し、実践 している。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)